

サポート

No. 186

令和4年9月7日発行

県教育庁特別支援教育課指導班

第21回 秋田県障害者技能競技大会（アビリンピック秋田大会）

7月15日、高齢・障害・求職者雇用支援機構秋田支部主催の第21回秋田県障害者技能競技大会（アビリンピックあきた大会）が、秋田市文化会館を会場に開催されました。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、県教育委員会主催の職業教育フェスティバルは同時開催できませんでしたが、県内12の特別支援学校から、総勢37名の生徒が参加しました。参加生徒は7つの部門に分かれ、真剣な表情で各競技に取り組んでいました。

この日に向けて生徒たちは、教員や外部講師の方々から技術や心構えを学ぶとともに、友達との学び合いを通してそれらを磨き上げてきました。日頃の学習によって育まれた生徒の「働く力」は、当日の他校の生徒との競い合いを通じてますます高まり、新たな目標へとつながったことと思います。

部門別の順位は下の表のとおりです。パソコンデータ入力部門では、数式や書式を使いこなし、データの正確な入力と修正の技術が認められた、県立支援学校天王みどり学園高等部3年 米谷 悟さん（写真）に、金賞と県知事賞が送られました。おめでとうございます。



〈 成 績 〉

部 門	参加者数	金 賞	銀 賞	銅 賞
ワード・プロセッサ	5	松本 拓己 (聴覚支援)	秦 結来 (聴覚支援)	安井 絢香 (栗田支援)
表計算	1	奈良 和香 (栗田支援)		
喫茶サービス	11	外木 優瞳 (栗田支援)	佐々木 なごみ (せんぼく校)	東海林 楓花 (栗田支援)
ビルクリーニング	14	柴田 裕理 (横手支援)	土田 理久哉 (ゆり支援)	加藤 桜星 (栗田支援)
木工	2	桜庭 和裕 (能代支援)	森田 郁人 (天王みどり)	
縫製	2	糸屋 美南 (比内支援)	木村 詩織 (かつの校)	
パソコンデータ入力	2	米谷 悟 (天王みどり)	地主 一聖 (大曲支援)	
合 計	37			

障害者技能競技大会は、「障害のある方の職業能力の向上」と「障害のある方に対する理解啓発と雇用促進」を目的として開催されており、15歳以上の方（成人を含む）が参加対象です。各都道府県における「地方アビリンピック」と、その成績優秀者が参加する「全国アビリンピック」があります。また、4年に一度「国際アビリンピック」として世界大会も開催されています。

事業紹介「e-AKITA ICT学び推進プラン事業」

特別支援学校を対象とした本事業は、令和2年度から始まり、今年度は最終年の取組となります。

【主な事業内容】

(1) ICTの活用による障害の状態や特性等に応じた学びの推進

- ① 各県立特別支援学校における実践
 - ・ICT活用推進リーダーの指名とICT活用の推進に向けた校内体制の構築
 - ・ICT活用計画に基づいた組織的な授業改善 等
- ② ICT活用推進モデル校（県立特別支援学校2校）における実践
 - ・公開研究会の開催による研究成果の発信 等

県立聴覚支援学校 令和4年12月 6日（火）

県立横手支援学校 令和4年12月14日（水） オンライン開催

(2) 教員のICT活用指導力の向上

- ・ICT活用推進リーダー研修会の実施（特別支援教育課主催、年2回）
- ・ICT活用推進に係る職員研修の計画的な実施 等

第1回ICT活用推進リーダー研修会から

5月24日に、第1回ICT活用推進リーダー研修会を行い、特別支援学校のICT活用推進リーダー15名が参加しました。ICT活用推進モデル校の横手支援学校の大川 浩平 教諭からは、ICT活用推進リーダーの役割について、大曲支援学校せんぼく校の深川 亮 教諭からは、ロイロノートを活用した授業実践について紹介していただきました。参加者から、「自校の取り組むべき部分が明確になった」という感想が多く聞かれた研修会となりました。

実践紹介

動画のやりとりを通した聞き取る力、書く力の育成

県立大曲支援学校せんぼく校 教諭 深川 亮

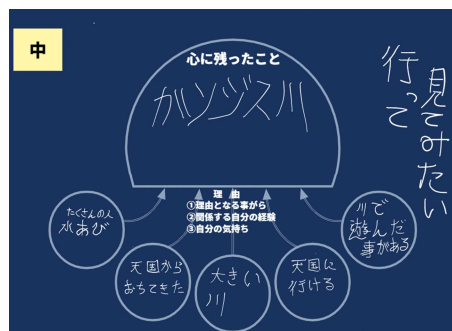
中学部3年生4名の生徒を対象に、ロイロノートを活用した国語科の単元「動画で伝え合おう」の授業を実践しました。ロイロノートは、スライドや動画の作成及び双方向の送受信、シンキングツールやアンケートの活用、ネット検索等ができる、汎用性の高い授業支援クラウドです。

本単元は、①中学部教師への依頼の動画の送信、②教師のインドや中国での旅の体験談の動画視聴、③感想動画の作成と教師への返信の流れで進めました。身近な教師の旅の話題を取り上げ、動画をやりとりしたことで、生徒は、目的意識を高め、興味・関心をもって学習に取り組みました。

動画視聴の際は、メモを取って聞き取ることを重視しました。メモの取り方の2種類の動画（聞いたことをそのまま書くケース、記号やひらがなを使って短く書くケース）を提示して比較・検討したことで、メモの仕方のポイントやメモの有用性に気付くことができました。

感想動画の原稿作成では、クラゲチャート（右図）を活用しました。クラゲチャートは中央（頭）に主張を、下位（足）に「理由」を記入することで理由付けを助けるチャートです。

文章の構成や内容が明確になり、スムーズに原稿を作成することができました。



※「e-AKITA ICT学び推進プラン事業」の詳細については、こちらのQRコードから「令和4年度 学校教育の指針」を開き、73ページを御覧ください。



※障害種に応じたICT活用の実践例として「秋田県立特別支援学校ICT活用実践事例集」を作成しました。こちらのQRコードから御覧ください。



令和4年度 特別支援学校教育課程研修会

令和4年8月1日(月)

オンライン開催

本研修会は、特別支援学校における教育課程の改善及び充実に向けて、毎年夏休みの時期に開催しています。今年度は、カリキュラム・マネジメントの推進における教育課程の編成・実施の中でも、教育活動の質的向上を図るための指導計画の作成・活用に焦点を当て、次の内容で実施しました。

【講話】「カリキュラムマネジメントの推進における教育課程の編成・実施

～教育活動の質的向上を図るための指導計画の作成・活用を中心に～」

文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世

【発表】「カリキュラム・マネジメントの推進に係る特色ある取組

～教育活動の質的向上を図るための指導計画の作成・活用～」

・県立能代支援学校 教頭 佐藤 圭吾

・県立栗田支援学校 教頭 伊藤 潤

【グループ協議】「教育活動の質的向上を図るための指導計画の作成・活用」

・副校長・教頭グループ～教育課程検討委員会における情報交換及び協議の状況や工夫～

・学部主事グループ(幼小、中、高)～学部会における情報交換及び協議の状況や工夫～

【講評】 文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 深草 瑞世

参加者からは、「新学習指導要領について理解が深まり、教職員に伝えるべきポイントを再確認することができた」「高等部は今年度から新学習指導要領が年次進行で実施されるので、教育課程の編成等について改めて確認するよい機会となった」「各教科等を合わせた指導を実施する理由等、教育課程の編成について保護者や地域の方々に説明できることが大切だという説明が印象に残った」などの感想が寄せられました。

教育課程の改善及び充実に向けて、教育課程の編成・実施については、授業実践から考える視点も重要であることを再認識できた研修会となりました。

令和4年春の叙勲 受章おめでとうございます

この度、本県特別支援教育の充実と発展に尽力され、その御功績により、西山 登喜雄 先生が、瑞宝小綬章を受章されました。

県庁第二庁舎で安田教育長から叙勲の伝達があったあと、ささやかではありますが、特別支援教育課にて伝達及び叙勲を祝う式を行い、受章のお祝いをさせていただきました。

西山 登喜雄 先生、この度は本当におめでとうございます。

